とかち新聞
主筆 松山明
（発行所）北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話1351番
1部20円　1カ月50円　1カ年前納の場合500円

盛大に記念式典

合併十周年、病院落成、千町歩造林

十四日に足寄町で

足寄町では、西足寄町と足寄村との合併十周年とあわせ、町立国保病院の改築落成および町有林野への造林一千町歩突破を記念して十月十四日午前十時から足寄高校体育館を会場にして盛大に記念式典がおこなわれるが、当日は打ちあげ花火や旗行列によつて祝賀気運をもりあげるほか、十三日から十六日にわたつて公民館を主会場にして各種の記念行事がくりひろげられる。

参加者は六百名　その半数以上を表彰

足寄高校体育館での式典は、町内外から六百名が参加してひらかれるが、式は小関助役の司会で、高橋町長の式辞、大塚建設課長の国保病院改築工事報告、高山林務課長の町有林野造林報告につづいて、高橋町長から

★開拓功労者（開拓の先駆者）として伊東石馬之助氏ほか二十五名

★自治功労者として理事者側の川上貞通氏ほか十四名

永年勤続議員の星宮一氏ほか二十名

合併当時の議員の真砂栄治氏ほか十五名

★産業功労者として星崎清太郎氏ほか四十一名

★教育功労者として工藤虎男氏ほか十五名

★社会功労者として畑中重兵衛氏ほか二十三名

★各種功労者として岡崎光三氏ほか八十名

をそれぞれ表彰したあと

★永年在町者（六十年以上）として坂口めよさんほか五十二名

★町歌作曲の八州秀章氏ほか十三名

にそれぞれ感謝状がおくられ、来賓代表として道知事代理、衆参議員、十勝支庁長、十勝町村会長、十勝町村議長会長などの祝辞につづいて被表彰者代表の謝辞があつて正午近くに式を閉じ、ひきつづき同会場で祝賀会がひらかれたあと午後二時から新装なつた国保病院の参観がおこなわれる。

表彰条例による分も

この日、表彰状や感謝状をうける三百八名のなかには、例年文化の日に足寄町表彰条例にもとずいて町議会の議決（本年は十月七日に決定）を経て表彰される十四名と二団体がふくまれているが、それはつぎのとおり。（敬称略）

◆柳沢学（駐在員として二十年以上）

◆朝河忠明（駐在員として十三年以上）

◆斎藤三郎（消防団副団長として十八年）

◆久保与一郎（消防団員として三十一年以上）

◆野上浅太郎（同）

◆森下信一（同）

◆我妻秀雄（同）

◆久道勇（同）

◆納頭ハル（婦人会長として十三年）

◆坂口義人（PT会長として十年以上）

◆茨城納税貯蓄組合（十年間納期内％完納）

◆伊奈納税貯蓄組合（同）

◆細岡憲雄（町職員として三十年以上）

◆富田秋雄（同）

◆原守郎（同）

◆守屋止羊（同）

八ミリ
カメラ
写真材料
のことなら
上野カメラ堂
足寄駅通り　T420

諸経費は二三〇万円

町村合併十周年に病院落成に造[illegible]いの規模で町費二百三十万円林千町歩突破と三つの記念行事を[illegible]成。合せてとりおこなうために、開町[illegible]の内訳は

△プログラム、受彰者名簿、パンフレット、案内状、新聞広告料など四十八万円

△賞状、感謝状、記念品など四十万円

△祝宴費　四十万円

△来賓接待費など十一万円

△会場施設費　四万九千円

△旗行列、打ちあげ花火、祝賀塔、祝賀余興、催しもの助成など二十九万円

△町内全戸への慶祝記念品三十九万九千円

△予備費　四万五千円

などとなつている。

祝賀行事

十三日　正午—午後四時
☆芸能発表会（保育園、小中学校、青年団、婦人会）公民館

十三日　午後六時—九時
☆そう曲、舞踊、詩ぎんの会　公民館

十四日　午前十時
☆旗行列

十四日午前九時—十一時
☆国保病院参観開放

十四日　午前十時
☆式典と祝賀会　足寄高校体育館

十四日　午後一時—五時
☆町歌発表、高校演劇とブラスバンド　自衛隊音楽隊演奏　公民館

十四日　午後六時—九時
☆民謡と浪曲の夕べ　公民館

十五日　午前十時—午後四時
☆NHK移動相談室　公民館

十五日　午後一時—三時
☆NHK農業講演会　公民館

十五日　午後六時—九時
☆フォークダンスと音楽鑑賞会　公民館

十六日　午前十時三十分—十一時二十分（放送）
☆記念番組『歌謡ショウ』STV

各種展示会など

（十三日から十五日まで）

☆生け花展、書道展、絵画展、写真展、理科実験、俳句会　公民館

☆銘石展、菊花展、手芸展　消防会館

☆農作物品評会　農協会議室

社説　なぜ急ぐのか

（一）

衆議院の日韓特別委員会では、両国政府が思い思いの解釈と発言で喰い違いをみせている管轄権（領土）の問題、経済協力の問題、漁業権の問題、在日朝鮮人の法的地位の問題、竹島の帰属の問題などなどがハッキリしないまゝに、社会党や民社党の質問が残つており自民党との約束どおりに横路節雄代議士（社会党）がこれから保留質問を展開しようという十月六日の再開冒頭に突如として自民党だけでシヤニムニ委員会での審議を打ち切つてしまつたのにつづいてこんどは十二日未明の本会議冒頭に委員長の報告も質疑も討論も一切を省略してイキナリ強行採決におよんだものだが、テレビの中継放送によつても明らかなようにこのダマシ討ちでバンザイを叫んで引きあげてゆく自民党の姿は、市井の暴力団のなぐり込みとなにらかわりがないのである。

（二）

いくら多数決が民主主義の常道だといつても、疑問の点が明らかにされないまゝに、ただ数の力だけで重要問題を強引に決めてゆくのが民主主義といえるかどうかであり、これではまさに多数横暴の暴力政治といわれても仕方がないのではあるまいか。

（三）

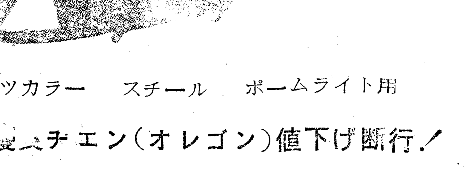
韓国の側でも野党が反対で欠席するし、院外大衆の反対運動には軍隊を出動させて押えつけ、与党単独で採決したいわくつきのこの条約案件を、日本も同じように警察力で大衆デモを押えつけて与党単独で強行成立させようと急いでいるのは、それはいつたいなんのためだろうか。

（四）

国民の血税で韓国へ供与される無償、有償五億ドルの金をめぐつてすでに日本の独占資本と韓国の軍事政権との間の黒いうわさがひろまつており、取引きが先行しているのに条約案件の成立がおくれていることにたいするアセリと、国会で徹底的に審議されては黒いうわさが白日のもとにバクロされることを恐れての強行手段である。

（五）

ニワトリ三羽に一千ドルといわれたベトナム賠償がどんな役割を果したかは、こんにちの事態が雄弁に物語つており、この条約は日韓両国だけのものではなく、アメリカの極東軍事政策の一環として、目下火を吹いているベトナム戦争のために、反共連合戦線の結束と強化をはかり、人的にも物的にも[illegible]の負担を軽くしてゆくと[illegible]日本の漁業大資本その他の[illegible]を満足させようと一石二鳥の効果をねらつているのである

林業の合理化に！
チエンソーの王座 マツカラー スチール 代理店

マツカラー　スチール　ポームライト用
[illegible]チエン（オレゴン）値下げ断行！
コールマンダンアメリカランプ
有限会社 鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　電話三〇七番

技術に生きる
レコード　ステレオ　ラジオ　テレビ
有限会社 ミネデンキ
足寄劇場前　電話142番